

北九州スタンダード標準服の冬の服装（意見反映版）

式典（始業式・終業式等）・行事（文化発表会・宿泊行事等）の際には事前に服装についてお知らせする。

【冬服・夏服着用期間の目安】 冬服：10月上旬から5月末 夏服：6月上旬から9月末

※着用に際しては各個人の気候に対する感覚で夏服・冬服・中間服を選択する。

- ・ポロシャツの下のシャツは白、黒、紺、灰色のもの（ワンポイント可、にぎりこぶしより小さい）。同様の色のハイネックを着用してもよい。
- ・ポロシャツのボタンは第一ボタンまで開けてもよい。ただし、式典や集会の際はボタンをすべて止める。
- ・ポロシャツは推奨品、または同様の市販のものでもよい。

ベルトは、黒、紺、茶の無地で派手でないもの。

制服は3つのタイプの中から選択できる。



下に着ているシャツのすそを出さない。

スカートは極端に短くしたり長くしたりしない。床に膝立ちをして、スカートのすそが地面につく程度が望ましい。

靴下の色は、白・黒・紺・灰とし、ラインやワンポイントが入っていてもよい。絵柄の入っているものは不可。くるぶしが出るものやルーズソックスは不可。靴は、体育の授業に使用出来る、ひも靴であること。ハイカットシューズやブーツタイプのものは不可。

頭髪、装飾品、その他について

【頭髪について】

- ・パーマをかけたりや髪色を変えたりしない。
- ・高校入試・就職の面接にふさわしい髪形、清潔感のある髪形を心がける。
- ・髪が肩にかからないように結ぶ。

【装飾品】

- ・指輪、ピアス、ネックレス、ブレスレット（数珠）等をつけない。

【その他】

- ・まゆ毛は形を変えたり、極端に薄くしたりしない。
- ・化粧、マニキュア、付け爪等をしない。 ・爪はきちんと切っておく。極端に伸ばさない。
- ・防寒着は、校内ではカーディガン・セーター・ベスト、（色は黒・紺・灰）を着用してもよい。登下校時は自宅にある防寒着（ウィンドブレーカー、ジャンパー、ベンチコート、ブルゾン等）を着用してもよい。また、それ以外の登下校時の防寒対策については各自が判断して行う。ただし、安全に留意して着用すること。
- ・防寒対策としてストッキング（黒・紺・肌色）を着用してもよい（スカート着用の場合）。
- ・防寒着の着用期間は、おおむね12月から3月とするが各個人の気候に対する感覚で着用を判断すること。
- ・スタンダード標準服の場合、カーディガンはブレザーの内側に着用する。
- ・放課後や休日に登校する時、休日などの部活動の応援に行く時も標準服を着用する。ただし、休日の部活動等で顧問の許可がある場合はその限りではない。

式典（始業式・終業式等）・行事（文化発表会・宿泊行事等）の際には事前に服装についてお知らせする。

【冬服・夏服着用期間の目安】冬服：10月上旬から5月末 夏服：6月上旬から9月末

※着用に際しては各個人の気候に対する感覚で夏服・冬服・中間服を選択する。

制服は3つのタイプの中から選択できる。

- ・ポロシャツの下のシャツは白、黒、紺、灰色のもの（ワンポイント可、にぎりこぶしより小さい）。同様の色のハイネックを着用してもよい。
- ・ポロシャツのボタンは第一ボタンまで開けてもよい。ただし、式典や集会の際はボタンをすべて止める。
- ・ポロシャツは推奨品、または同様の市販のものでもよい。
- ・エアコンの効き具合により寒い場合は冬の体操服、カーディガン（黒・紺・灰）を着用してもよい。

ベルトは、黒、紺、茶の無地で派手でないもの。



ポロシャツは外に出しても良い。その際、外に出した裾が異常に長くならないようにする。

スカートは極端に短くしたり長くしたりしない。床に膝立ちをして、スカートのすそが地面につく程度が望ましい。

靴下の色は、白・黒・紺・灰とし、ラインやワンポイントが入っていてもよい。絵柄の入っているものは不可。くるぶしが出るものやルーズソックスは不可。靴は、体育の授業に使用出来る、ひも靴であること。ハイカットシューズやブーツタイプのものは不可。

頭髪、装飾品、その他について

【頭髪について】

- ・パーマをかけたりや髪色を変えたりしない。
- ・高校入試・就職の面接にふさわしい髪形、清潔感のある髪形を心がける。
- ・髪が肩にかからないように結ぶ。

【装飾品】

- ・指輪、ピアス、ネックレス、ブレスレット（数珠）等をつけない。

【その他】

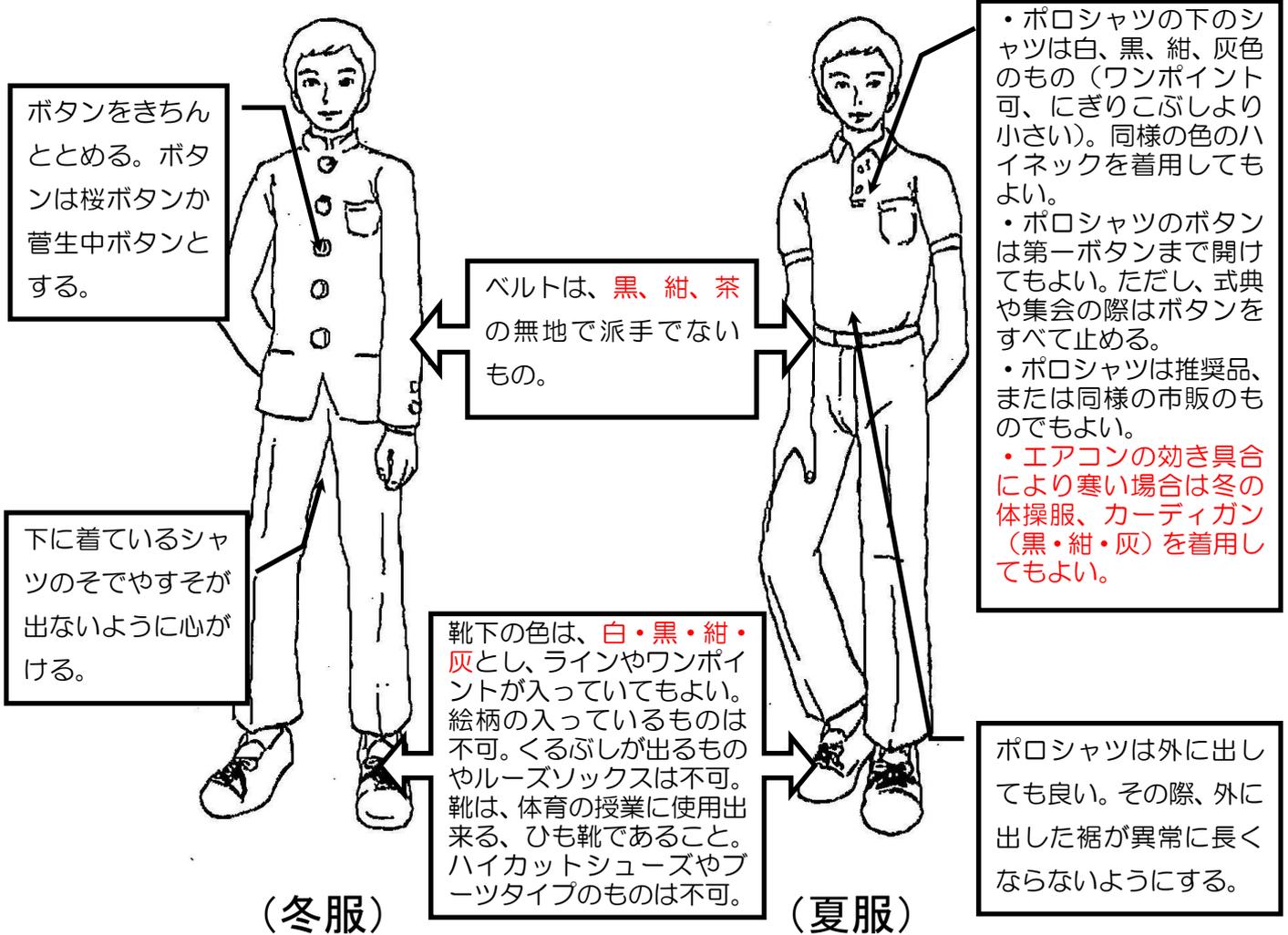
- ・まゆ毛は形を変えたり、極端に薄くしたりしない。
- ・化粧、マニキュア、付け爪等をしない。 ・爪はきちんと切っておく。極端に伸ばさない。
- ・放課後や休日に登校する時、休日などの部活動の応援に行く時も標準服を着用する。ただし、休日の部活動等で顧問の許可がある場合はその限りではない。

菅生中学校の服装（標準服）（意見反映版）

式典（始業式・終業式等）・行事（文化発表会・宿泊行事等）の際には事前に服装についてお知らせする。

【冬服・夏服着用期間の目安】 冬服：10月上旬から5月末 夏服：6月上旬から9月末

※着用に際しては各個人の気候に対する感覚で夏服・冬服・中間服を選択する。



頭髪、装飾品、その他について

【頭髪について】

- ・パーマをかけたりや髪色を変えたりしない。
- ・高校入試・就職の面接にふさわしい髪形、清潔感のある髪形を心がける。
- ・髪が肩にかからないように結ぶ。

【装飾品】

- ・指輪、ピアス、ネックレス、ブレスレット（数珠）等をつけない。

【その他】

- ・まゆ毛は形を変えたり、極端に薄くしたりしない。
- ・化粧、マニキュア、付け爪等をしない。 ・爪はきちんと切っておく。極端に伸ばさない。
- ・防寒着は、校内ではカーディガン・セーター・ベスト（色は黒・紺・灰）を着用してもよい。登下校時は自宅にある防寒着（ウィンドブレーカー、ジャンパー、ベンチコート、ブルゾン等）を着用してもよい。また、それ以外の登下校時の防寒対策については各自が判断して行く。ただし、安全に留意して着用すること（自転車へのマフラーの巻き込み、耳あてによる音の遮断等）。
- ・スタンダード標準服の場合、カーディガンはブレザーの内側に着用する。
- ・防寒着の着用期間は、おおむね12月から3月とするが各個人の気候に対する感覚で着用を判断すること。
- ・放課後や休日に登校する時、休日などの部活動の応援に行く時も標準服を着用する。ただし、休日の部活動等で顧問の許可がある場合はその限りではない。

菅生中学校の服装（標準服）（意見反映版）

式典（始業式・終業式等）・行事（文化発表会・宿泊行事等）の際には事前に服装についてお知らせする。

【冬服・夏服着用期間の目安】 冬服：10月上旬から5月末 夏服：6月上旬から9月末

※着用に際しては各個人の気候に対する感覚で夏服・冬服・中間服を選択する。

前髪は目にかからないようにする。かかる場合は、ピン（黒・紺・茶）でとめる。

髪は肩につかないようにする。つく場合は、ゴム（黒・紺・茶）で結ぶ。

ネクタイをつけ、きちんと結ぶ。

そでのボタンはきちんととめる。

スカートは極端に短くしたり長くしたりしない。床に膝立ちをして、スカートのすそが地面につく程度が望ましい。

靴下の色は、白・黒・紺・灰とし、ラインやワンポイントが入っていてもよい。絵柄の入っているものは不可。くるぶしが出るものやルーズソックスは不可。靴は、体育の授業に使用出来る、ひも靴であること。ハイカットシューズやブーツタイプのもは不可。

ポロシャツの下のシャツは白、黒、紺、灰色のもの（ワンポイント可、にぎりこぶしより小さい）。同様の色のハイネックを着用してもよい。

ポロシャツのボタンは第一ボタンまで開けてもよい。ただし、式典や集会の際はボタンをすべて止める。

ポロシャツは推奨品、または同様の市販のものでよい。

エアコンの効き具合により寒い場合は冬の体操服、カーディガン（黒・紺・灰）を着用してもよい。

ポロシャツは外に出しても良い。その際、外に出した裾が異常に長くないようにする。

（冬服） **（夏服）**

頭髪、装飾品、その他について

【頭髪について】

- ・パーマをかけたりや髪色を変えたりしない。
- ・高校入試・就職の面接にふさわしい髪形、清潔感のある髪形を心がける。
- ・髪が肩にかからないように結ぶ。

【装飾品】

- ・指輪、ピアス、ネックレス、ブレスレット（数珠）等をつけない。

【その他】

- ・まゆ毛は形を変えたり、極端に薄くしたりしない。
- ・化粧、マニキュア、付け爪等をしない。 ・爪はきちんと切っておく。極端に伸ばさない。
- ・防寒着は、校内ではカーディガン・セーター・ベスト（色は黒・紺・灰）を着用してもよい。登下校時は自宅にある防寒着（ウィンドブレーカー、ジャンパー、ベンチコート、ブルゾン等）を着用してもよい。また、それ以外の登下校時の防寒対策については各自が判断して行う。ただし、安全に留意して着用すること（自転車へのマフラーの巻き込み、耳あてによる音の遮断等）。
- ・防寒対策としてストッキング（黒・紺・肌色）を着用してもよい。
- ・スタンダード標準服の場合、カーディガンはブレザーの内側に着用する。
- ・防寒着の着用期間は、おおむね12月から3月とするが各個人の気候に対する感覚で着用を判断すること。
- ・放課後や休日に登校する時、休日などの部活動の応援に行く時も標準服を着用する。ただし、休日の部活動等で顧問の許可がある場合はその限りではない。